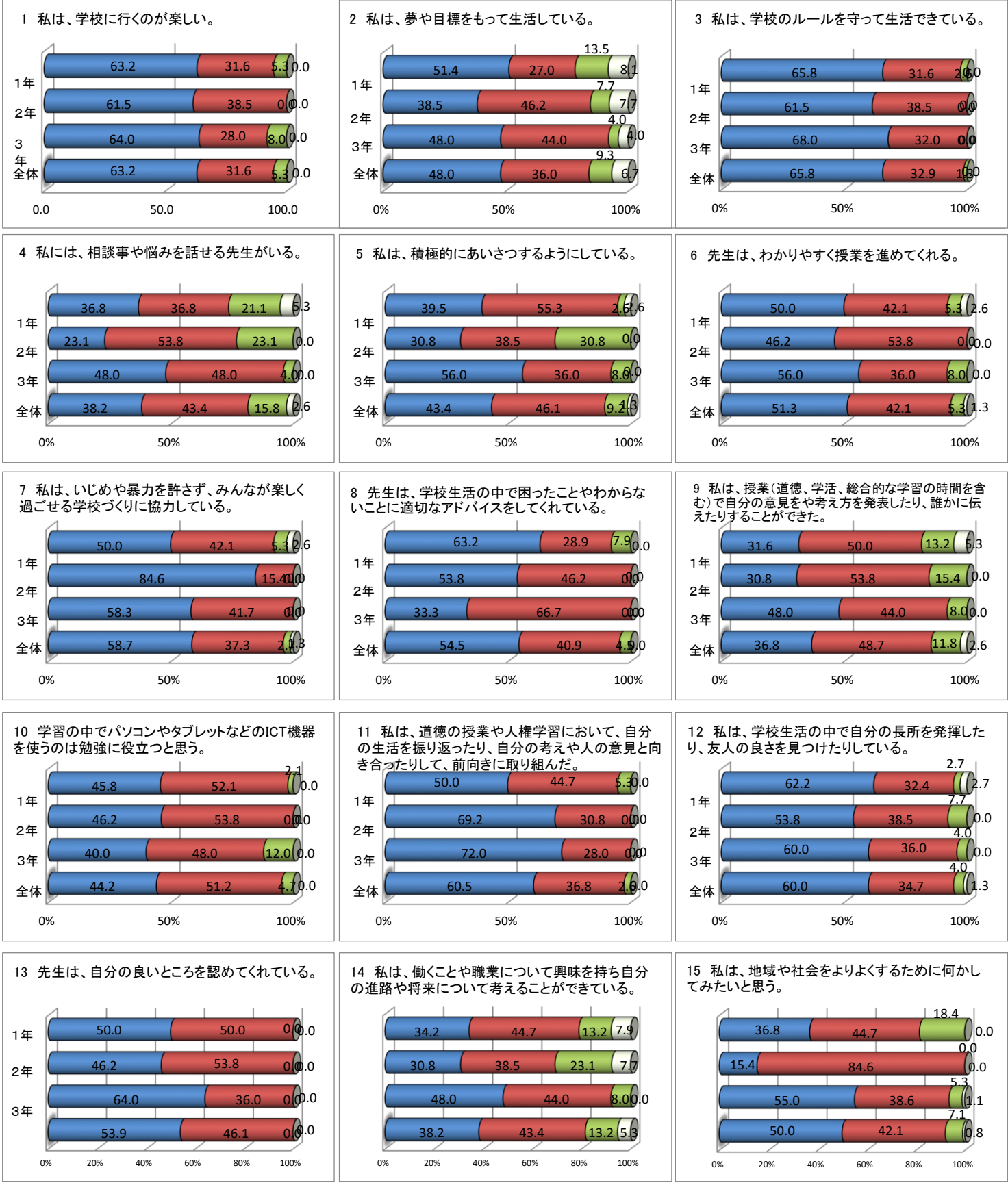


貞光中学校 学校評価アンケート結果(生徒)

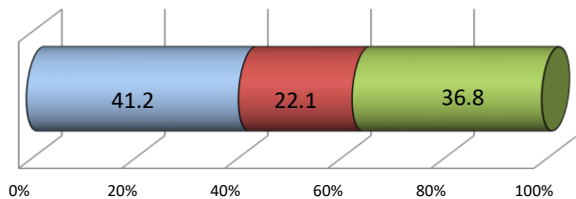
■ア:よくあてはまる ■イ:どちらかといえばあてはまる ■ウ:あまりあてはまらない □エ:まったくあてはまらない



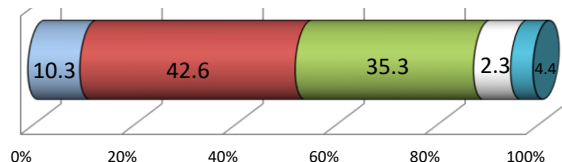
令和6年度

貞光中学校 学校評価アンケート結果（保護者）

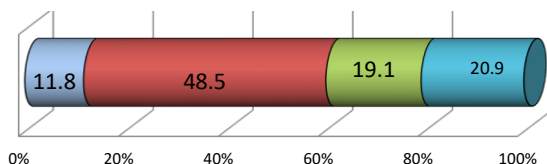
1 お子様の学年を回答ください。



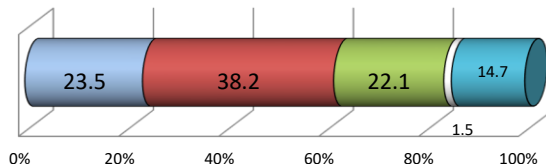
2 お子様は、家庭での学習の仕方を工夫し学習している。



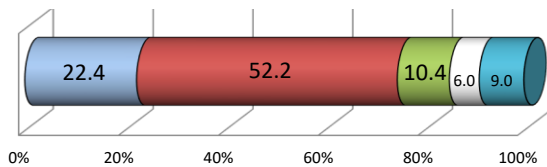
3 タブレットや電子黒板を使った学習でお子様のICT（情報通信技術）の活用能力が高まり、学力の向上にもつながっている。



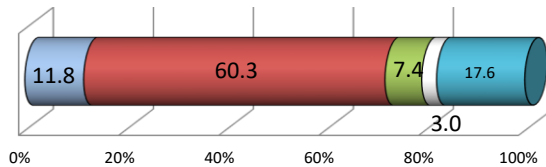
4 あなたのお子様は困ったことや悩みを教職員に相談している。



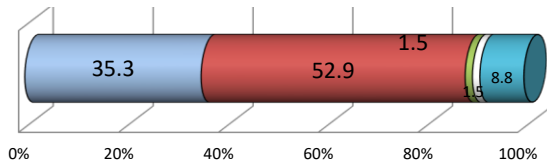
5 学習や生活の場面において、個別に支援が必要なとき、学校に相談できる。



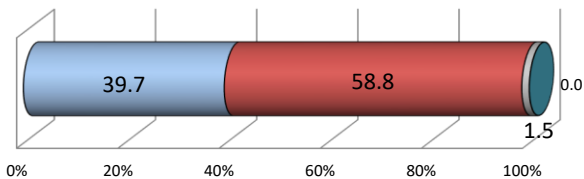
6 学校は、いじめ問題など、生徒指導上の問題の発見、早期対応に努めている。



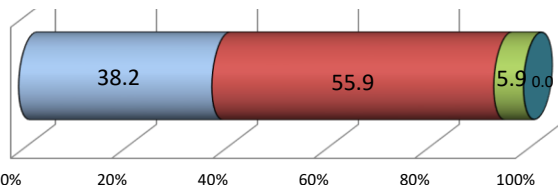
7 学校は、お子様の個性を尊重し、よさや努力を認め励ますことで、お子様の自己肯定感が高まっている。



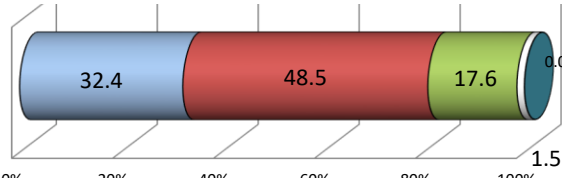
8 お子様は、自分や他人のことを大切にしている。



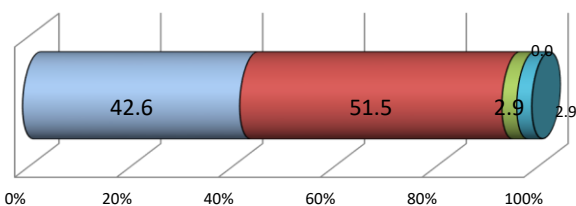
9 人を思いやることやルールを守ることなど、人としての生き方について機会をとらえお子様と話をしている。



10 お子様とお子様の将来や進路について機会をとらえ話をしている。



11 学校の様子が配布物や家庭連絡、ホームページなどでわかる。



アンケートの考察（成果と課題）と今後の改善方策 つるぎ町立貞光中学校

成果

「確かな学力」「豊かな心の育成」「地域・家庭・学校の連携」「働き方改革の推進」を重点目標に学校経営を行っているが、「働き方改革の推進」を除く3点で概ね目標達成できた。

① 生徒アンケート

ほとんどの質問項目で高い結果を得、特に「学校に行くのが楽しい」「学校のルールを守っている」「先生は自分の良いところを認めてくれている」「わかりやすい授業」「地域や社会をよりよくしたい」などでは、好結果である。

② 保護者アンケート

「学校は、良さや努力を認め励ますことで自己肯定感を高めている」「学校の様子が配布物や家庭連絡、ホームページなどでわかる」で高い結果を得た。

③ 教職員自己評価

「全ての教育活動で人権感覚を育むことを意識」「いじめや問題行動の把握に努める」「生徒のよさを見つけ、前向きな言葉かけや温かい雰囲気づくりに努める」で100%の回答を得ることができた。

課題 教職員への相談、キャリア教育・進路指導、積極的なあいさつ、働き方改革が課題

① 生徒アンケート

「相談事や悩みを話せる先生がいる」に3年は、96%であるが1・2年は80%以下「積極的なあいさつ」「自分の進路や将来について考えることができる」では2年で70%を下回る回答であった。

② 保護者アンケート

「学校に相談できる」の回答が74%と低い。また、「タブレットや電子黒板を使った学習で学力向上につながっている」「お子様が困ったことや悩みを教職員に相談」「学校は生徒指導上の問題の発見、早期対応に努めている。」の回答は「わからない」の回答率が多いものの肯定的な回答率が低い。

③ 教職員自己評価

「時間外在校時間を昨年度比1日15分短縮に努めた」で「あてはまらない」の回答が60%で働き方意識改革が進んでいないことがわかる。また、授業改善や体験学習の充実についても学校全体ではすすめているが、個人での回答になると低い数値の結果となった。学校全体的な取組を教職員個人の取組意識につなげていく。

今後の改善方策

- ・共に考え、寄り添う姿勢や声かけを大切にすることで生徒・保護者が相談しやすい環境をつくる。
- ・キャリア教育・進路指導については、計画を見直し年間を通した指導を行うことで、進路や将来について考える機会を創出する。
- ・生徒会を中心としたあいさつ活動を今後も継続し、教職員が手本となり、あいさつを実践するなど学校全体で課題に取り組む。
- ・情報モラルに留意しながら、効果的な情報発信の場として、ホームページを有効に活用する。学校行事などを通し、貞光中学校の教育活動の様子を公開し、地域と共に歩む、開かれた学校づくりに今後も取り組んでいくことで、保護者の「わからない」の回答率を下げていく。
- ・引き続き、働き方改革を意識し業務改善を進める。